

平成28年度（2016年度）第1学期 面接授業

第1学期の面接授業を以下の期間中全国の学習センターで開講します。

開講期間：4月16日（土）～8月5日（金）

[面接授業トップ](#) > [各センターの面接授業のご案内](#) > [徳島学習センター](#) > 面接授業詳細

 [面接授業トップページへ](#)

 [全国の授業概要一覧へ](#)

 [授業科目一覧へ戻る](#)

- 科目登録の際は、科目コード・クラスコードが必要となります。各クラスのコードをご確認の上、科目登録して下さい。
(例) 2445204 K クラス ← 科目コードは「2445204」、クラスコードは「K」
- 授業によっては、面接受講に際し必要な図書(=教科書)・携行品を指定しているクラスがあります。各クラスの授業概要でご確認下さい。
指定された教科書・携行品は、必ず受講生の方各自でご用意いただき、授業当日にご持参下さい。

専門科目：自然と環境 | 環境とバイオテクノロジー

科目区分	日程 / 実施 時間	
専門科目：自然と環境		2016年05月28日(土)第1時限 10:00～11:25
科目コード		2016年05月28日(土)第2時限 11:35～13:00
2445204		2016年05月28日(土)第3時限 14:00～15:25
開設学習センター		2016年05月28日(土)第4時限 15:35～17:00
徳島学習センター (36A)		2016年05月29日(日)第1時限 10:00～11:25
ナンバリング		2016年05月29日(日)第2時限 11:35～13:00
320		2016年05月29日(日)第3時限 14:00～15:25
科目名		2016年05月29日(日)第4時限 15:35～17:00
環境とバイオテクノロジー		
担当講師	授業概要	
佐藤 高則 (徳島大学大学院リソ・アーツ・アント・サイエンス研究部・准教授)	【授業内容】 近年、バイオテクノロジーの発展はめざましく、我々の周りにはバイオテクノロジーを利用した製品が数多く見受けられます。こうしたバイオテクノロジーや環境との関係に対しては基礎知識を正しく理解し、自分の意見を持つことが重要です。本講義は、バイオテクノロジーの生体高分子、産業、環境への利用の現状に対して幅広く見識を広げることを目的とします。	
	【授業テーマ】 第1回 ガイダンス (シラバス、授業内容、成績評価方法の説明) 第2回 生体高分子の基礎 (糖質、脂質、タンパク質、核酸) 第3回 遺伝子工学と応用 (遺伝子組み換え技術、PCR、DNA塩基配列決定) 第4回 細胞工学と応用 (ES細胞、iPS細胞、それらの利点と問題点) 第5回 微生物工学と応用 (微生物の分類と同定法、利用法) 第6回 環境工学と応用 (バイオレメディエーション、環境浄化) 第7回 遺伝子組み換え作物の利点と問題点 第8回 バイオテクノロジーの将来と問題点、レポート課題の説明	
	【学生へのメッセージ】 この授業では、バイオテクノロジーと生体高分子や環境との関係に対する理解と、バイオテクノロジーに対する自分の意見を持てるようになることを目的としています。授業で配布する資料は、下記HPからダウンロードできますので、予習・復習に役立ててください。 http://www.geocities.jp/satokichi2004jp/syllabus/jyugyou.htm 【受講者が当日用意するもの】	

成績評価の方法	
成績評価は出席状況のほか、レポートの評点により行います。	
クラス	教科書
K	授業当日にプリントを配付します。
定員	参考書
50名	・生命工学－分子から環境まで－(熊谷・金谷編/共立出版/ ¥ 3,996/ISBN=9784320055681) ・生命と環境 (林 要喜知ほか/三共出版 / ¥ 3,024/ISBN=9784782705865)
その他(特記事項)	
この科目は旧専攻「専門科目：自然の理解」に該当します。	

[▲ページの先頭へ](#)